

最新 2025 年 12 月号より抜粋

横浜華僑総会 新春聯歡会のご案内

聯合總會代表委員大会 開催

広東省僑聯代表団来会 広く在浜僑胞らと交流

一般社団法人廣東同郷会 法人設立 60 周年と敬老を盛大に祝う

横浜山手中華学校 32 届卒業生 還暦同窓会開催

華厨会所 秋のバス旅行へ

廣東要明鶴同郷会 恒例の親睦旅行会開催

婦人会 秋の散策バスツアー

茉莉花女声合唱団からお知らせ

華文教育の「新たな 100 年」を目指して 10 月 1 日国慶典礼 小学部学生代表发言稿

中学部学生代表发言稿

第 2 回 日中友好女性交流会

要明鶴帰郷ツアーに参加して (1) 華僑総会理事 楊仕元

訃 告

横浜華僑総会 新春聯歡会のご案内

岁末将至，首先祝愿诸位侨胞们身体健康，生活愉快。

横浜華僑總會將舉辦新春聯歡會與廣大僑胞共慶佳節，屆時為年滿 20 周歲的僑胞青年祝賀他們新成人。同時為年屆七旬的古稀壽星們祝壽，當天還有幸運抽獎活動，歡迎諸位僑胞們踊躍報名參加。

師走の候、お健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

横浜華僑総会は左記の通り新春聯歡会を開催いたします。古希、成人の方々をお迎えし、新年の喜びを皆様と共にお祝いしたいとおもいます。また抽選会もございますので皆様のご来場をお待ちいたします。

記：

日 時：2026 年 2 月 1 日（日）午後 5 時 開宴

会 場：ローズホテル横浜

（横浜市中区山下町 77 電 話 045-681-3311）

チケット代：一般 8,000 円

高校生、中学生 5,000 円

小学生 ～ 3 歳 4,000 円

25 年度会費納入者 5,000 円

聯合總會代表委員大会 開催

日本華僑華人聯合總會の第 27 届代表委員大会は、2025 年 10 月 20 日午後 2 時、神奈川県湯河原町のホテルエクシブ湯河原離宮で開催され、横浜華僑総会から陳会長、楊副会長、朱副会長、游副会長、曾徳深顧問、王忠福元会長および事務局が出席した。

陳会長は議長を務め、午後 7 時からの懇親会では陳隆進会長が感謝と抱負を述べ、陳宜華会長が全国からの参加者に謝意を表した。



広東省僑聯代表団来会 広く在浜僑胞らと交流

10 月 13 日午後、訪日中であった廣東省僑聯二級巡視員庄有林氏率いる廣東省僑聯代表団一行 4 名は横浜華僑総会を訪れ、本会陳宜華会長らが親しく一行を出迎えた。

陳会長は代表団の到来に歓迎の意を表し、横浜華僑総会と横浜華僑の歴史について、映像を交えながら紹介した。

また、庄有林氏からは広東省の状況が紹介されたほか、広範な僑胞へは親しみを込めたメッセージが伝えられた。

この日、廣東省僑聯代表団は朝から精力的に横浜での訪問活動を展開した。

午前中には横浜山手中華学校を訪れ、張岩松校長の出迎えを受け、昼には廣東同郷会の 60 周年記念祝賀会に参加した。

その後、横浜華僑婦女会を訪ね、黄巧玲会長はじめ多くの華僑婦人と交流したほか、最後に訪れた広東要明鶴同郷会では、夏東開名誉会長ら同会役員が一行を出迎え親しく懇談した。



一般社団法人廣東同郷会

法人設立 60 周年と敬老を盛大に祝う

一般社団法人廣東同郷会（朱銘江会長）は、10 月 13 日（月・祝）正午、横浜中華街のローズホテル横浜で盛大に社団法人設立 60 周年と敬老を寿ぐ祝賀会を開催した。当日は尹星副会長と陰玉慧氏が A I 技術を織り交ぜ司会進行を務めた。

この日の祝賀会には広東省僑聯からこの日のために来日した代表団一行をはじめ、香港特区政府の駐日代表機構の代表、京浜地区の僑団、僑校、同郷会などの代表と同会会員と家族ら約 350 名が一堂に会した。本会から陳宜華会長が出席し祝意を表した。

冒頭、朱銘江会長はあいさつの中で 60 年の歩みを振り返り、同郷会は会員同士の結びつきを強め、廣東文化を継承し、社会に奉仕し、交流を進めてきたと語り、廣東人の気質とされる“務実、開放、包容（実務的で、開放的で、包容力を有する）”精神を今後とも持ち続けていきたいとの思いを述べた。

そして、先ごろ会長職を退いた陸煥鑫前会長に対し、今年度の会員大会で「終身名誉会長」の称号を授与することが決議されたことが伝えられたほか、陸前会長から 1,000 万円の私財が拠出され「陸煥鑫終身名誉会長奨学金」が設立されたことが紹介された。

続いて来賓を代表して広東省僑聯二級巡視員の庄有林氏と、日本華僑華人聯合總會会長の陳隆進会長がそれぞれ挨拶し、廣東同郷会の法人設立 60 周年に祝意を表した。また、広東省僑聯からは廣東同郷会に対し記念品の陶器の置き物が贈られた。

そして、廣東同郷会は社団法人成立 60 周年にあたり、横浜山手中華学校に対し教育振興を目的とし 60 万円の寄付をすることを表明し、朱銘江会長が同校の繆雪峰理事長と張岩松校長に目録のパネルを手渡した。

続いて廣東要明鶴同郷会の夏東開名誉会長が乾杯の音頭を取り、祝杯を挙げた。

乾杯の発声に合わせ、横浜中華学校校友会国術団のメンバーによる四頭の勇壮な獅子が入場し、幸運と吉兆を祈念する舞いを披露した。

余興では同会の文芸サークルのメンバーがこの日のために練習を重ねた成果を歌と踊りで表現した。

また、著名な揚琴演奏家の郭敏氏は広東音楽を代表する縁起の良い「步步高」と「賽龍奪錦」の二曲を演奏した。

60 周年の祝賀会の締めを飾ったのは、出演者が一同に登壇し、「友好の光」を大合唱し、満場の喝采を浴びた。

最後に同会の符順和副会長が閉会の挨拶をし、お開きとなった。



乾杯の発声をする夏東開顧問（中央）と
朱銘江会長（右 2）、3 名の副会長

横浜山手中華学校 32 届卒業生 還暦同窓会開催

45 年前に横浜山手中華学校初中部を卒業した私たち 32 届は、大部分が本年還暦を迎える。還暦を迎えるにあたり、11 月 29 日にホテルニューグランドで還暦同窓会を開催した。

当日は、小学部 1 年生から初中部 3 年生までに担任を持っていた潘蘭英老師、黄瑞霞老師、原幸古老師、羅子樑老師をお招きし、総勢 26 名がパノラマビューの素晴らしいホテルニューグランド本館 5 階・スターライトに集った。



朱銘江同学の北京語による司会進行はいつもながらよどみなく、老師方におじさんおばさんになってしまった私たちを改めて思い出してもらうために「点名」も行って、それぞれが元気に「到！」と答えた中、私含め数名がうっかり「はい」と答えてしまって、突っ込まれた（笑）

おいしい料理とお酒、昔話や近況を語らって、会はとてもにぎやかに進行した。終盤に筆頭幹事の蕭敬意同学が、母校・山手中華学校は現在寄付を募集しており、今回微々たる会費が残るが、それを学校に寄付することに同意を求め、全員の了承を受けた。散会后、そのまま 2 次会に流れ、4 次会まで盛り上がった者も多かった。

（32 届 黄巧玲）

華厨会所 秋のバス旅行へ

京浜華厨会所（楊義智会長）が 10 月 22 日（水）に毎年恒例の秋の 1 泊バス旅行が行われ、33 名が伊豆半島へと向かった。添乗員は昨年から馴染みとなった互いに気心がしれた渡辺さん。

1 日目の最初の訪問地は長さ 400m の日本一長い吊り橋「三島スカイウォーク」は、橋上からの雄大な富士山と相模湾の眺望がウリであったが、あいにくの小雨交じりの天気の中、あの辺が富士山らしいとの訪れとなった。その後、江戸時代末期に欧米諸国の脅威から日本を守るため、品川台場に設置する大砲を制作した世界遺産に登録された韮山反射炉。伊豆ワイナリーに寄り、宿泊地の稲取の銀水荘に到着。

この日は最年少参加者の林君の誕生日と重なり、夜の宴会では会から林君にプレゼントが渡され、会長からは♪ハッピーバースデー・トゥー・ユーのハモニカ演奏が贈られた。

2 日目は何度も訪れたことのある伊豆の踊子にまつわる浄蓮の滝、踊り子小路そしてシーラカンスが展示されている沼津の深海水族館で学び、帰路についた。

毎年行われるこの旅行は幅広い年齢層、新僑老僑のへだてなく皆和気あいあいの集いの場であり、会員から楽しみにされている。



廣東要明鶴同郷会 恒例の親睦旅行会開催

11月5から6日、廣東要明鶴同郷会は二年に一度の会員親睦旅行会を開催した。今年の行き先は山梨県の石和温泉。日頃の疲れと癒しになる旅に会員と会友 38 名が参加した。午前8時過ぎに中華街をバス一台で出発、道中くもりがちであったが、かすかに富士山が見えかくれし、さらに紅葉の色づきが少しずつゆっくりと移り変わる景色を楽しみながら、昼食は山梨ワインビーフを使用した店でハンバーグ定食。その後は武田神社を観光、甲府の礎・武田氏三代の居館跡（歴史館）を見学。そして信玄餅で有名な「桔梗屋」の工場見学、買い物等をへて宿泊先の「ホテルふじ」では温泉と親睦宴会が待っていた。

ホテルでは県内最大級の大岩風呂をはじめ、庭園露天風呂を楽しみ、親睦宴会ではおいしい食事とお酒とともに会員同士の親睦を深め、ビンゴやカラオケ等で盛り上がり、ストレス解消をした。

二日目は富士山のたもと「忍野八海」と787年の創建と伝えられ、富士北口登山道の基点で信仰を集めてきた「富士浅間神社」を見学。境内はいるだけで落ち着き、そこにずっといたくなるような神社であった。ひきつづき道の駅「富士吉田」で買い物し、最後に橋脚を使わず、両岸から張り出した四層のはね木に支えられている珍しい構造の木造橋である「日本三奇橋 名勝 猿橋」を訪れた。

楽しい親睦会も終わりに近づき、午後6時には中華街に無事到着。再来年以降もこのような楽しい会を続けていきたい。

（廣東要明鶴同郷会 厳華新）



婦女会 秋の散策バスツアー

横浜華僑婦女会（黄巧玲会長）は小雨が降る10月22日、「秋の散策の会」を開催した。当日はみなと総合高校前に参加者28名が集合、バスはアクアラインを通過して一路房総半島へ。当初の企画では君津市にある「濃溝の滝」を目指すはずであったが、あいにくの雨のため、予定を変更して買い物＆グルメツアーとなった。

まずは君津市にある、はちみつ工房で新鮮な採れたてのはちみつを堪能する。その後またバスに乗り、鴨川市にあるカステラ工房へ。入店するや否や、カステラの試食サービスに商売のアイデアを学ぶ。実は鴨川市は全国養鶏ナンバーワンだそうで、新鮮な卵を使ったカステラが大好評。豊富なものからヒントを得て、商売に活かす行動力がすばらしい。しかもおみやげ付き、午前中は濃密なスイーツを堪能できた。

昼食は館山市にある、百年古民家オーベルジュの「季の音（ときね）」にて和のコースランチ。グルメな華僑婦女会のメンバーを唸らせる見事な味と色彩の絶妙なバランスであった。



たちがとことん癒される旅であったのではないだろうか。何よりもバス車内での歓談が尽きない時間は、今ある健康と幸せを感じる時間であった。

(婦女会文化部 林 絵津子)

旅の後半は、複数の道の駅を楽しんでから帰路に向かう。

1 軒目は南房総市の干物などの品揃えがよい、とみうら琵琶倶楽部という道の駅。

その後、景色は海、海、海から山、山、山へと変わっていき、2 軒目は木更津市のうまいたの里。ピーナッツや果物などの山の幸の道の駅。どこに寄っても、皆さんの購買意欲がものすごい。

今回の旅は座っているだけで千葉の 5 つの市を横断することができるぜいたくな達成感をも味わえた。

終日雨天であったが、“食べると買う”に集中でき、座って移動することで忙しい日々の気分転換と体力が温存できた。普段はさまざまな役割があり、人のために貢献する参加者

茉莉花女声合唱団からお知らせ

茉莉花女声合唱団は 2025 年 12 月 2 日に団員総会を開催して、団長にジョン・ハオ先生が就任いたしました。前任代表と同様引き続きご指導くださいますようお願い申し上げます。

2025/12/2

華文教育の「新たな 100 年」を目指して

10 月 1 日国慶典礼 小学部学生代表发言稿

尊敬的各位领导、来宾、亲爱的老师们同学们：大家好！

今天，我们怀着无比激动与自豪的心情，相聚在横滨山手中华学校的校园里，共同庆祝祖国母亲的生日。能够作为学生代表发言，我感到非常荣幸。

还记得刚入学时，我曾疑惑：为什么在异国他乡，我们依然要学习中国话、认识汉字？直到参加学校组织的“寻根之旅”，我们走进西安的兵马俑，触摸到千年文明的厚重；漫步北京的故宫，感受到传统文化的璀璨；在上海外滩，看到高楼林立间涌动的时代活力——那一刻，我忽然明白，我们在课堂上学的每一个汉字、唱的每一首中文歌、了解的每一个历史故事，都是在搭建一座桥梁，这座桥梁一头连着脚下的异国土地，一头连着千里之外的祖国故乡。作为海外中华儿女的新一代，“中国”这两个字，始终是我们心中最鲜明的印记。课堂上，老师教我们“天下兴亡，匹夫有责”，让我们懂得个人成长与祖国命运紧密相连；活动中，我们一起包饺子、剪窗花、庆祝传统节日，让中华文化在欢声笑语中代代相传。今天，祖国的发展日新月异，从“神舟”飞天到“嫦娥”探月，从脱贫攻坚到乡村振兴，每一个成就都让海外游子倍感自豪。我们知道，祖国的强大，是我们海外华侨的底气；而我们的努力，也将是祖国未来的荣光。

作为中华学校的学生，我们不仅要学好知识，更要传承好中华文化的基因：用真诚传播中国故事，用行动展现中国少年的风采，让世界看到一个开放、包容、充满活力的中国。

最后，让我们共同祝愿：亲爱的祖国母亲生日快乐，繁荣昌盛！祝愿我们的中华学校越办越好，培养更多热爱祖国、拥抱世界的优秀学子！

谢谢大家！

小学生代表 下村爱佳

中学部学生代表发言稿

尊敬的各位老师，亲爱的同学们：大家好！

今天是2025年10月1日，我们伟大祖国的76岁生日。请允许我代表全体中学生，向祖国母亲送上最诚挚的祝福——生日快乐！

作为华侨华人，我们为祖国的繁荣富强而深感自豪。去年金秋，我们77届同学有幸踏上毕业旅行的旅程，亲眼见证了祖国的壮丽山河，感受了课本里那些著名建筑真实而震撼的存在，也体验到祖国高速发展的社会面貌。无论是繁华的都市，还是秀美的景色，都让我们深深感受到祖国日新月异的变化。这一切成果，凝聚着先烈们的牺牲与奉献，也凝结着几代人为民族复兴不懈奋斗的心血。作为新时代的学生，我们由衷地感到骄傲与喜悦。

我们生活在日本，能够安心、快乐地学习与成长，也得益于中日两国前辈们共同努力创造的和平。作为中华学校的学生，我们更应牢记使命：勤奋学习，积极思考，关心中日关系，以中日友好为己任。掌握双语的我们，应当成为两国交流的桥梁。中华民族是伟大的民族，是坚强不屈的民族，更是热爱和平的民族。我们希望通过自身的努力，让中日两国世代友好，共同发展。

同学们，让我们努力学习吧！唯有不断提升自我，才能更好地影响世界。

最后，衷心祝愿我们的祖国母亲风调雨顺，国泰民安、繁荣昌盛！也祝愿中日两国携手并进，世代友好！

中学生代表 小林茂豪

第2回 日中友好女性交流会



去る11月9日、神奈川県日中友好協会女性部会、神奈川県日中友好婦人連絡会と横浜華僑婦人会の三者共催による第2回日中友好女性交流会在横浜華僑婦人会館3階ホールで開催された。当日は共催の三者に加え、在日華人女性交流会からも参加があり、40名ほどが婦人会館3階に集った。

今回のテーマは「宋慶齡」。今年6月に3団体から4名が北京の中華全国婦女聯合会、中國宋慶齡基金會を表敬訪問した報告と、石川照子大妻女子大学教授に「宋慶齡の生涯-新たな視点から考える」の講演をお願いした。石川先生の専門は中国近現代女性史・キリスト教史・ジェンダー研究で、日本の宋慶齡基金會にも関わっていらっしゃる。

訪中報告では、前全国日中友好協会女性委員会委員長の田島さんが、長年携わっていらっしゃる徐福について再度

語ってくれた。私は残念ながら徐福について学生時代に学んだことがなく、田島さんに何うまで知らなかったのだが、田島さんの徐福に対する熱意と貢献を今回学ぶことができ、これはもっと知りたいという思いを強くした。

講演では、宋慶齡の生い立ちから孫文と知り合い、死別した後も新中国にとどまって祖国に貢献したその活動について伺った。私は、宋家は裕福な一族という印象のみが子供の頃から記憶に留まっていたが、今回の講演で、宋慶齡の父・宋嘉樹（耀如）がメソジストの宣教師であり、実業家であったこと、宋慶齡にはそのキリスト教徒としての人道主義・博愛主義が最後まで根底にはあったのではないかと、なぜ、姉妹と袂を分けても祖国に留まり、新中国建設に心血を注ぎつづけた根源だったのではと少し理解できた気がした。宋慶齡は終生、女性解放・女性指導者としての活動をした方である。中国福利会、宋慶齡基金会を設立して、女性と子供のための社会活動を貫いた。その生き方には尊敬と敬服、さらに親愛の情を感じた。

交流会終了後は桂宮に会場を移し、懇親会を開催した。懇親会でも石川先生に多くの質問が出たが、先生はすべてに丁寧に回答いただきながらも、おいしい食事とお酒を堪能され、会は非常になごやかに、かつ楽しい雰囲気の中で成功裡に終了した。

（妇女会 黄巧玲）

要明鶴帰郷ツアーに参加して

（１）華僑総会理事 楊仕元

去る 8 月 10 日から 14 日まで、広東要明鶴同郷会の帰郷ツアーに参加させて頂き、観光地巡り、親戚訪問、美食の旅を満喫することができました。50 人近くの大部隊が一台のバスで移動する旅は初めてのことであり、老骨に鞭打って、大きなトラブルもなく無事に帰還できたものの、どこかで皆様に迷惑をかけていたのではないかと、今なお危惧しているところです。

かつての高明、高要、鶴山の各県は幾度かの変遷を経て、現在の行政区ではそれぞれ佛山市、肇慶市、江門市の所轄に属し、従って今回の観光地巡りは佛山市の高明区、禅城区、順徳区、そして肇慶市に絞られ、親戚訪問は一定時間を設けて各人がそれぞれに「老家」へ向かったという次第でした。

10 日朝、8 時 30 分発の日航機で羽田をたち、現地時間の正午に広州到着、入国手続きを済ませると、ガイドの梁さんがすでに待ち受けていて、大型バスへと案内された。一時間半ほどバスに揺られて、この先 3 日間宿泊する聯塑万怡酒店には 2 時 30 分ごろに到着し、宿泊手続きを済ませて、各自の部屋で小休止。四時から文昌塔が目印となる明城鎮へ向かい、そこにある僑胞之家、続いて東門圩（墟）百年街区を訪れ、海外華僑から集められた資料を見学、さらに道幅のあまり広くない古い商店街（圩：市（いち）のこと）を散策し、地元職員の説明を受けながら往時を偲びました。この後、靈龜公園へ向かい、明朝の万暦二十九年（1601）に珠江の西江洪水鎮圧のために建てられたとされる靈龜塔を遠目に眺め、浜江緑道を通ると、8 種類もの水蓮が植わっていて、一昨年から日暮れの後も照明により美しい蓮の夜景が楽しめると言われる荷花池を巡りました。案内地図の前では、この地の俯瞰図で見ると亀の頭に似ているとのガイドさんの説明がありました。敷地内にある高明世紀銭幣博物館の横を通り過ぎた際、皆さんはあまり気づかなかったようですが、外壁に古い紙幣のコピーが貼られていて、両掌を合わせたよりも大きいのをみつけて、驚いたのを憶えています。残念ながら時間の都合などで省かれたもので、広東省唯一の唐代の龍窯遺址が 1957 年にここで発見され、長さ 9 メートル、幅 2 メートル余の登り窯と確認、その後、碗、盆など陶器一千点余りも出土し、貴重な文化遺産として保護されています。



高明区僑胞之家にて

霊亀公園を後にして、午後 7 時に尖沙咀酒店で夕食を取ることになりました。粵菜の醍醐味は何と言っても本場で味わうのが一番。焼乳猪、焼鵝、焼鳩、清蒸魚、清炒薺菜（空心菜）、さやインゲン入りの野菜炒め、それに白切鶏を忘れてはなるまい。ここ広東では「無湯不成餐、無鶏不成宴」と言われているほど、毎食必ずスープが付き、宴席には必ず鶏が出ます。この日の乳猪は小ぶりに過ぎたのが少し惜しまれたが、パリパリの皮の焼き加減がほどよく、ヨシとしました。鵝も皮の硬さと肉の柔らかさのバランスがよく、文句なし。また、玻璃脆皮乳鵠とメニューにある焼き鳩も皮パリパリ。

魚の蒸し加減も絶妙で、あっという間に骨だけになってしまい、人気のほどが分かりました。野菜類はみな若くみずみずしいので最高（日頃日本で食べる野菜はなぜだかみなトウがたってしまったように筋張っていてイタダケナイ！）。いまこの文を綴りながら思い出すだけでも、パソコンの鍵盤をよだれで濡らしそうになります。旅の初日の夕食がこれほどに好印象を与えてくれたのは、食い倒れの広東を故郷に持つ食いしん坊にとっての最高の幸せと言えましょう。

早朝 4 時起きの日、時差の 1 時間を加えて夜 10 時までの 19 時間をよく動き回ったものだと、われながら感心しつつ「冲凉」を済ませ、あとは高いびき。

（つづく）

訃 告

區美燕女士（中華学校 6 届生、區国元 8 届生、區秋燕 11 届生ご令姉）は 25 年 10 月 31 日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。